

## 財務状況を全般的に説明する資料

### ◆ 事業活動収支計算書の予算対比について

教育活動収支の収入は30,178千円の増となり、内訳は、学生生徒等納付金44,290千円の減、手数料868千円の増、寄付金44,877千円の増、経常費等補助金13,344千円の増、付随事業収入669千円の減、雑収入16,047千円の増です。経常費等補助金の増は、主に修学支援助成金の収入増によるものです。

教育活動収支の支出は21,340千円の増となり、内訳は、人件費1,174千円の減、教育研究経費10,619千円の減、管理経費27,581千円の増、徴収不能額等5,551千円の増で、管理経費(報酬委託手数料・補助活動事業支出・通信費)・徴収不能額等の増加が主な要因となっており、結果、収支は8,838千円マイナス幅が縮小しました。

教育活動外の収入は9,598千円の増で、主要因は収益事業収入8,377千円の増です。教育活動外の支出は248千円の増となり、結果、収支は9,350千円マイナス幅が縮小しました。

特別収支の収入は76,550千円の増となり、主要因は現物寄付68,690千円の増です。特別収支の支出は7,947千円の増となり、内訳は主に機器備品処分差額の7,454千円の増で、結果、収支は68,603千円の増となりました。

基本金組入前当年度収支差額は86,791千円の増となりました。

基本金につきましては、基本金組入額が1,329,078千円となっています。

### ◆ 事業活動収支計算書の前年度対比について

教育活動収支の収入は550,037千円の増となり、内訳は、学生生徒等納付金383,130千円の増、手数料4,411千円の減、寄付金55,364千円の増、経常費等補助金147,082千円の増、付随事業収入13,300千円の減、雑収入17,829千円の減です。学生生徒等納付金の増で特に大きな要因は、宝塚医療大学和歌山保健医療学部です。寄付金は特別寄付金1,240千円の減で、一般寄付金が57,267千円の増となっています。経常費等補助金は国庫補助金が78,678千円の増、都道府県補助金が85,932千円増、その他補助金17,624千円の減となっています。付随事業収入は、主に補助活動収入18,103千円の減、附属事業収入4,803千円の増です。雑収入は、施設設備利用料21,957千円の減が主な要因です。

教育活動収支の支出は455,336千円の増となり、内訳は、人件費295,105千円の増、教育研究経費318,431千円の増、管理経費159,662千円の減、徴収不能額等は1,461千円の増で、人件費の内訳は、教員人件費174,403千円の増、職員人件費131,096千円の増、その他の人件費10,394千円の減です。教育研究経費は高等教育の修学支援新制度の影響による奨学費139,013千円の増や減価償却費107,285千円の増が特に大きな要因です。管理経費は寄付金115,000千円の減が大きく影響しています。結果、収支は94,701千円マイナス幅が縮小しました。

教育活動外の収入は1,217千円の減となり、収益事業収入1,433千円の減が主たる要因です。

教育活動外の支出は5,880千円の増で、主要因は借入金利息5,838千円の増です。結果、収支は7,097千円のマイナス幅拡大となりました。

経常収支差額については87,605千円マイナス幅が縮小しました。

特別収支の収入は1,768,101千円の減となり、現物寄付1,573,574千円の減が主たる要因です。結果、収支は1,775,222千円の減となりました。

基本金組入前当年度収支差額は1,687,617千円の減となりました。

基本金は、昨年度組入額対比1,392,665千円減の1,329,078千円の組入れとなりました。